

ごあいさつ



皆さまには、平素より結城信用金庫に対しご支援、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も『ユーシン』の日頃の経営姿勢や業績の推移などの経営内容をお知らせし、なお一層のご愛顧を賜りたく「ユーシンレポート 2019」を作成いたしました。

ご高覧をいただき、当金庫に対するご理解を深めていただければ幸いです。

さて、平成30年度の日本経済は、全体としては緩やかな回復基調が続いたものの、地域経済は、人口減少・少子高齢化などの構造的な問題や地域間格差の拡大など厳しい状況が続いています。当金庫の営業地域においても、「ユーシン景況レポート」の平成31年3月期の全業種業況判断DIは△5.7ポイントと、依然として水面下の状況が続いています。

また、情報通信企業の台頭など経済構造が変化する中で、金融機関の経営環境も大きく変化していることから、当金庫の基本的なビジネスモデルである「こぐちさきすうしゅぎ小口先数主義」の定着を図り、安定的な経営基盤を構築してまいります。

令和元年度は、「ユーシン^{きょうそうりよく}「共創力発揮」2018」3か年計画の2年目にあたり、引続きコンプライアンス態勢の強化を経営の最重要課題に掲げ、お客様本位の経営に徹することにより、お客様と共に豊かな地域の未来を創り上げていく「共創」を目指してまいります。

当金庫は、地域の皆さまに感謝し、これからも地域の皆さまから真に愛され信頼される信用金庫として歩み続けてまいります。

今後とも、変わらぬ、ご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

ユーシンのシンボルマークについて



これは「一つの心」を表しています。
すなわち事(目標・事業)を起こすときは全員一丸
となって精進するという意味で、創立以来現在
まで引き継がれています。

理事長 石塚 清博